



生活行為は人が生活の中で
行うあらゆる活動であり、
生きていく上での希望や
生きがいとなるもの。

セルフ
ケア

食事・着替えなどのセルフケア

家事

料理・掃除などの家事

仕事

学業や仕事

余暇

趣味や楽しみとなる活動

地域
活動

ボランティアや
地域の集まりなどの地域活動

病気や障がいのできなくなった生活行為を
再びできるように支援するのが
作業療法士というリハビリの専門職です。

このリーフレットは、高校生が作業療法士を目指す際のヒントとして、生活行為向上マネジメント (MTDLP) の魅力を紹介しています。
他の協会発行の作業療法広報パンフレットなどと合わせてぜひご活用ください。



作業療法見学ツアー



作業療法に関する疑問



作業療法
広報キャラクター
オーティくん

JAPAN 一般社団法人
日本作業療法士協会
Japanese Association of Occupational Therapists

高校生のみなさまへ 作業療法士

OT ; Occupational Therapist

作業療法 (さぎょうりょうほう)
それはこころとからだの
リハビリテーション



MTDLP : Management Tool for Daily Life Performance
生活行為向上マネジメントのシンボルマーク

MTDLP (生活行為向上マネジメント) は、
生活の質を支援し、向上させるための
作業療法の技 (わざ) のひとつです

一般社団法人
日本作業療法士協会



作業療法士は、患者さんの「笑顔」と「希望」を引き出すことができる、やりがいのある仕事。
 あなたも、生活行為向上マネジメント (MTDLP) を知り、いろいろな人の生活を支える専門家を目指しませんか？



養成校の授業

講義と演習で学ぶ

対象となる人の生活行為の向上を支援できるため、その人が、何に困っているか、何ができるようになりたいか、聞き取って一人ひとりの目標を立てる方法を勉強します。

授業には、障がい者や高齢者へ聞き取りを行う科目もあります。



* MTDLP を活用した講義・演習のイメージ動画です



臨床実習

臨床実習の見える化

病院の実習で、ある学生は80代Aさんのリハビリに関わりました。

「自宅に帰って野菜の出荷をしたい」という希望を聞いた学生は、MTDLPを使ってこの人の希望を叶えたいと思い、支援プランを立てようと考えました。実習指導者の先生と一緒に移動の方法や、負担の少ないやり方を提案しました。

病院での練習から始めて、自宅では家族に手伝ってもらいながら練習しました。その結果、再び、野菜の出荷ができるようになりました。



* この動画では、作業療法学生がMTDLPの臨床実習体験を語っています。



卒後教育

学びは卒業後も

養成校を卒業してからは、現場で先輩に教えてもらうだけではなく、日本作業療法士協会等の研修も充実しています。

生活行為を支える技術を学び続けることで、病院、施設、行政、など幅広く活躍できます。



* MTDLP を活用した実習指導を行った実習指導者のメッセージ動画です。

